

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	圏央道を軸とする千葉茨城交流圏域における観光振興による広域的地域活性化（第4回変更）							重点計画の該当	○								
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）			交付対象	千葉県（茨城県と連携）												
計画の目標・広域的特定活動																	
圏央道の開通を契機として、千葉茨城交流圏域（外房地域・南房総地域・鹿行地域・県南地域）における主要な観光地を結ぶ幹線道路において、観光バスなどの大型車のすれ違いが困難な幅員狭小や線形不良箇所等を整備することにより、広域的な観光活性化を図る。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉茨城交流圏域における観光入込客の増加率 5%（H28）</li> <li>南房総半島地域における観光入込客の増加率 5%（H28）</li> </ul>																	
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考							
							当初現況値	中間目標値	最終目標値								
千葉茨城交流圏域における観光入込客の増加率 (千葉茨城交流圏域における観光入込客の増加率) = (評価時点の年間観光入込客数) / (H22の年間観光入込客数)							(H23) 100.0% (9,317万人)	(H26末) 103.0% (9,597万人)	(H28末) 105.0% (9,783万人)								
(南房総地域における観光入込客の増加率) = (評価時点の年間観光入込客数) / (H22の年間観光入込客数)							100.0% (1,557万人)	103.0% (1,604万人)	105.0% (1,635万人)								
(外房地域・南房総地域における観光入込客の増加率) = (評価時点の年間観光入込客数) / (H22の年間観光入込客数)							100.0% (7,146万人)	103.0% (7,360万人)	105.0% (7,503万人)								
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,360百万円	A	4,350百万円	B	0百万円	C	10百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.2%					
交付対象事業																	
A1 広域連携事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
1-A1-1	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 多古笹本線（多古町多古）	バイパス L= 0.54km	多古町						303	H27完
1-A1-2	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(一) 下総橋停車場東城線（東庄町新宿）	バイパス L= 1.56km	東庄町						231	H25一部完
1-A1-3	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 成田小見川鹿島港線（香取市沢）	バイパス L= 1.0km	香取市						904	
1-A1-4	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 銚子海上線（旭市清滝）	現道拡幅 L= 1.6km	旭市						397	
1-A1-5	道路	一般	千葉県	直接	-	国道	改築	(国) 128号（大網白里市富田）	現道拡幅 L= 2.2km	大網白里市						241	
1-A1-6	道路	一般	千葉県	直接	-	国道	改築	(国) 465号（いすみ市深堀）	バイパス L= 0.67km	いすみ市						582	H27完、南房総半島地域振興法
1-A1-7	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(一) 小田代勝浦線（大多喜町小沢又）	現道拡幅 L= 0.84km	大多喜町						489	H26一部完
1-A1-8	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 鴨川保田線（鋸南町市井原）	現道拡幅 L= 0.69km	鋸南町						450	南房総半島地域振興法
1-A1-9	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 千葉鴨川線（袖ヶ浦市高谷）	バイパス L= 1.0km	袖ヶ浦市						200	
1-A1-10	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 富津館山線（富津市豊岡）	現道拡幅 L= 0.38km	富津市						100	南房総半島地域振興法
1-A1-11	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 市原天津小湊線（君津市黄和田畑）	現道拡幅 L= 1.0km	君津市						260	
1-A1-12	道路	一般	千葉県	直接	-	都道府県道	改築	(一) 館山大貫千倉線（館山市古茂口）	現道拡幅 L= 1.1km	館山市						193	H26一部完 南房総半島地域振興法
											小計（広域連携事業）					4,350	
											合計					4,350	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
											合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H24	H25	H26	H27	H28				
1-C1	観光振興	一般	千葉県	直接		観光振興	広域周遊観光ルートプロモーション	リーフレット等作成	外房・南房総地域						10			
										合計					10			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
1-C1	圏央道の開通を契機に、広域周遊観光ルートをPRすることで観光の振興を図る。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
									H24	H25	H26	H27	H28					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																		
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				(主) 多古笹本線 (多古町多古) (1-A1-1)、(国) 465号 (いすみ市深堀) (1-A1-6) の整備が完了し、広域観光ルートの一部が形成されたことにより、観光入込客数の増加が図られた。														
II 定量的指標の達成状況				千葉茨城交流圏域における観光入込客の増加率		中間目標値	103% (9,597万人)	目標値と実績値 に差が出た要因	圏央道の東金JCT～木更津東IC区間が平成25年4月に、神崎IC～稲敷IC区間が平成26年4月に開通するとともにICへのアクセス道路が整備されたことなどによる広域幹線道路ネットワークの着実な形成、国の観光立国に向けた取り組みなどの効果による訪日外国人の増加、首都圏や空港就航先での県の観光キャンペーンなど観光地の認知度向上施策などの効果により、当初の目標値を上回る実績となった。									
						中間実績値	112.5% (10,484万人)											
				南房総地域における観光入込客の増加率		中間目標値	103% (1,604万人)	目標値と実績値 に差が出た要因		圏央道の東金JCT～木更津東IC区間が平成25年4月に開通するとともにICへのアクセス道路が整備されたことなどによる広域幹線道路ネットワークの着実な形成、国の観光立国に向けた取り組みなどの効果による訪日外国人の増加、首都圏や空港就航先での県の観光キャンペーンなど観光地の認知度向上施策などの効果により観光入込客が増加したと思われるが、南房総地域については、東日本大震災 (H23.3) の影響により、千葉県産の新鮮な魚介類や農産物を利用した「食料品」の関連業界が風評被害にあっている傾向が強く、観光客数は当初の目標値を下回る実績となった。								
						中間実績値	86% (1,339万人)											
				外房地域・南房総地域における観光入込客の増加率		中間目標値	103% (7,360万人)	目標値と実績値 に差が出た要因			圏央道の東金JCT～木更津東IC区間が平成25年4月に開通するとともにICへのアクセス道路が整備されたことなどによる広域幹線道路ネットワークの着実な形成、国の観光立国に向けた取り組みなどの効果による訪日外国人の増加、首都圏や空港就航先での県の観光キャンペーンなど観光地の認知度向上施策などの効果により、当初の目標値を上回る実績となった。							
						中間実績値	114% (8,168万人)											
III 定量的指標以外の交付対象の効果の発現状況 (必要に応じて記載)																		
3. 特記事項 (今後の方針等) 引き続き、残りの事業についても計画期間内に完成するよう計画的に実施して、広域的な観光ルートを形成することにより、観光振興による広域的な地域活性化を図る。																		